【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成23年3月10日(2011.3.10)

【公開番号】特開2007-219512(P2007-219512A)
【公開日】平成19年8月30日(2007.8.30)
【年通号数】公開・登録公報2007-033
【出願番号】特願2007-11371(P2007-11371)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｇ　5/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/74　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　5/10　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　5/391　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｇ　5/00　５５０Ｈ
Ｈ０４Ｎ　5/74　Ｚ
Ｇ０９Ｇ　5/10　Ｚ
Ｇ０９Ｇ　5/00　５２０Ｖ
Ｇ０９Ｇ　5/00　５１０Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成23年1月12日(2011.1.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ビデオ信号によって表されるビデオ画像系列を処理する方法であって、前記系列の各画像の画素組の輝度の振幅を、前記画像について表示する対象の輝度値付近に変調周波数(fm)で時間的に変調する変調工程を備え、前記変調は、ディジタル・ビデオ・キャプチャ装置によって前記ビデオ画像がキャプチャされる場合にエイリアシングによってアーチファクトを同時に生成する一方で、人間の眼に見えないよう選ばれ、
変調周波数(fm)は、関数sinc(πfτ)の局所的極値を中心とする特定の周波数範囲にあるよう選択され、関数sincはカージナル・サイン関数であり、τは前記ディジタル・ビデオ・キャプチャ装置のシャッター積分時間であり、ｆは周波数であり、前記局所的極値が周波数Fに対応する場合、前記特定の周波数範囲がF-Δ以上F+Δ以下に及び、Δは5Hz以上15Hz以下であることを特徴とする方法。
【請求項２】
請求項１記載の方法であって、前記シャッター積分時間τは、前記ディジタル・ビデオ・キャプチャ装置のサンプリング周波数fsの逆数に等しくなるよう選択される方法。
【請求項３】
請求項１又は２に記載の方法であって、前記変調周波数(fm)は、前記ディジタル・ビデオ・キャプチャ装置の前記シャッター積分時間の逆数が50Hzに等しい場合に、71.5Hz又は122.9Hzの周波数を中心とする前記特定の周波数範囲にあるよう選択される方法。
【請求項４】
請求項１又は２に記載の方法であって、前記変調周波数(fm)は、前記ディジタル・ビデオ・キャプチャ装置の前記シャッター積分時間の逆数が60Hzに等しい場合に、85.8Hz又は147.5Hzの周波数を中心とする前記特定の周波数範囲にあるよう選択される方法。

【請求項５】
ビデオ信号によって表されるビデオ画像系列を処理する装置であって、前記系列の各画像の画素組の輝度の振幅を、前記画像について表示する対象の輝度値付近に変調周波数(fm)で時間的に変調する変調器（１０）を備え、前記変調は、ディジタル・ビデオ・キャプチャ装置によって前記ビデオ画像がキャプチャされる場合にエイリアシングによってアーチファクトを同時に生成する一方で、人間の眼に見えないよう選ばれ、
振幅変調に用いる周波数(fm)は、関数sinc(πfτ)の局所的極値を中心とする特定の周波数範囲にあるよう選択され、関数sincはカージナル・サイン関数であり、τは前記ディジタル・ビデオ・キャプチャ装置のシャッター積分時間であり、ｆは周波数であり、前記局所的極値が周波数Fに対応する場合、前記特定の周波数範囲がF-Δ以上F+Δ以下に及び、Δは5Hz以上15Hz以下であることを特徴とする装置。
【請求項６】
請求項５記載の装置であって、前記シャッター積分時間τは、前記ディジタル・ビデオ・キャプチャ装置のサンプリング周波数fsの逆数に等しくなるように選択される装置。
【請求項７】
請求項５又は６に記載の装置であって、前記変調周波数(fm)は、前記ディジタル・ビデオ・キャプチャ装置のシャッター積分時間の逆数が50Hzに等しい場合に、71.5Hz又は122.9Hzの周波数を中心とする前記特定の周波数範囲にあるよう選択される装置。
【請求項８】
請求項５又は６に記載の装置であって、前記変調周波数(fm)は、前記ディジタル・ビデオ・キャプチャ装置のシャッター積分時間の逆数が60Hzに等しい場合に、85.8Hz又は147.5Hzの周波数を中心とする前記特定の周波数範囲にあるよう選択される装置。
【請求項９】
請求項５乃至８の一項に記載の装置であって、前記変調器によって計算される画像は、前記変調周波数(fm)の2倍以上のフレーム・レート(fr’)で出力される装置。
【請求項１０】
請求項9記載の装置であって、前記変調器によって計算される前記画像は、前記画像が前記変調器に入力される前記フレーム・レート(fr)の倍数に等しいフレーム・レート(fr‘)で出力される装置。